

高瀬舟で考えたことをまとめよう

教材：「高瀬舟」（「現代の国語3」三省堂 他）

「高瀬舟」には、「人間のもつ欲の問題」「安楽死の問題」が描かれています。

どちらか一つを選んで、この問題に対するあなたの考えを

はがき新聞にまとめましょう。



指導のねらい

学びを広げよう 「考えの形成」の段階で取り組ませたい。「知足ということに関して、庄兵衛と喜助と、どちらの考えに共感するか」「安楽死について、自分は賛否いずれの立場をとるか」。どちらか一つを選んで、考えを深めたい。「知足の問題」「安楽死の問題」、どちらも結論を出すことが難しい問題なので、現時点での自分なりの考えが表現できればよい。友達の意見も自分の考えに大きな影響を与える可能性がある。交流・共有の場を確実に設定したい。

・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つこと。(C(1)エ)

A・・・立場を明らかにし、その根拠を2つ述べている。

B・・・立場を明らかにし、感想を述べている。



評価の例

※「主体的に学習に取り組む態度」

A・・・どの立場を選択したか、どこに根拠が書かれているか、「はがき新聞」をちょっと見ただけでははっきり分かるように、紙面構成を工夫して作成している。



時間配分
(目安)

① 導入（課題の説明）・・・5分

② はがき新聞の作り方説明・・・5分

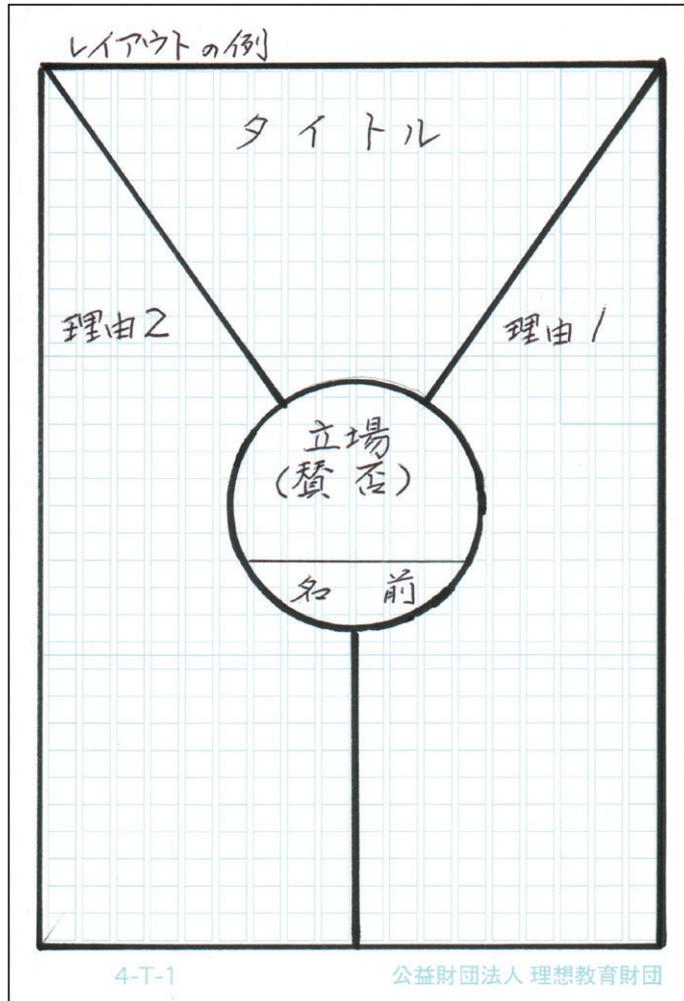
③ はがき新聞の制作・・・30分

④ 振り返り・交流・・・10分

グループで、お互いの作品を読み合う。

学びを広げるポイント

- 友達の作品から、多様な紙面構成（レイアウト）の在り方に気づかせる。一目見て、立場が分かること、読みたいと思わせる構成の仕方があることに気づかせる。そのため、今回の「はがき新聞」は、紙面構成を重視し、マス目を利用してもしなくても可とする。見た目で見つけられる作品作りを目指したい。



高瀬舟で考えたことをまとめよう

「高瀬舟」には、「足ることを知る、つまり人間のもつ欲の問題」と「安楽死の問題」とが描かれています。

どちらか一つを選んで、この問題に対するあなたの考えをはがき新聞にまとめましょう。



教材：「高瀬舟」(「現代の国語3」三省堂 他)

学びを広げよう 次の①または②を選んで、「はがき新聞」にまとめます。①「足るを知る」ということに対して、同心庄兵衛と罪人喜助と、あなたの考えはどちらに近いでしょうか。②「安楽死」について、あなたは賛否いずれの立場をとりますか。①②ともに、自分の立場を決めて、理由を書きましょう。難しい問題なので、現時点での自分なりの考えで結構です。はがき新聞の紙面に、自分の立場やその理由が一目で分かるように、紙面構成を工夫してまとめましょう。

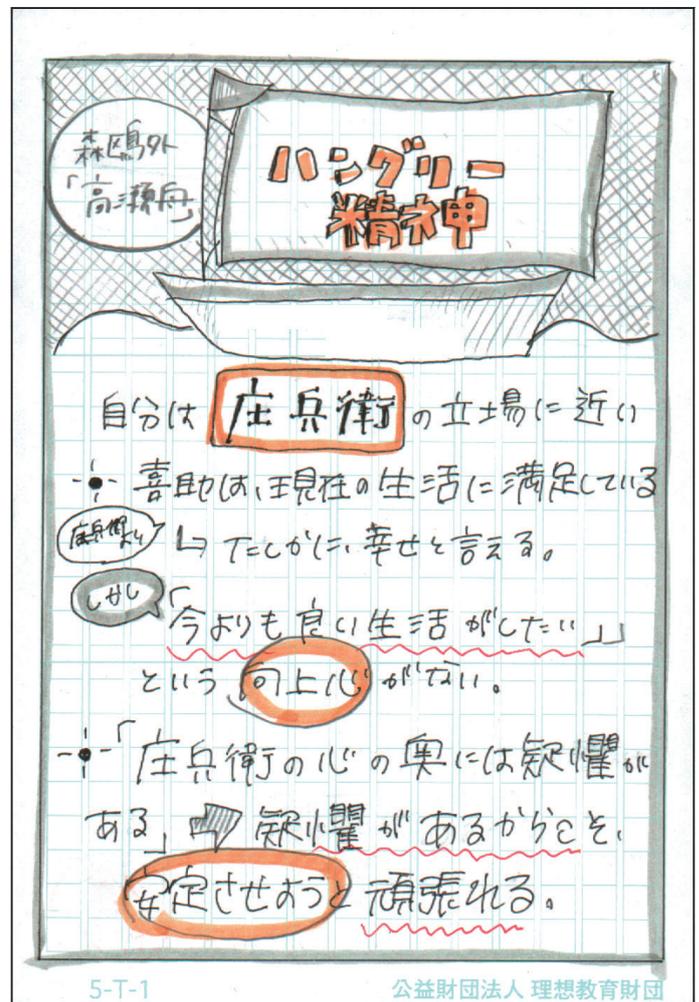
はがき新聞の作り方



- レイアウトの例は、一応の参考です。今回は、自分なりに大胆に構成を考えてください。
- 定規を使って、外枠だけ線を引いておきましょう。
- 必ず書く内容は5つです。自分の立場(①)とその理由(根拠)2つ(②③)、タイトル(④)、名前(⑤)です。2で引いた外枠の中を、この5つで構成します。
- マス目にとらわれず文字を入れて結構です。今回は、「はがき新聞」を一つのカードと考えてレイアウト(紙面構成)しましょう。
- 自分の言いたいことが一目で伝わるように工夫しましょう。①を大きく書く(スペースを取る)と分かりやすいです。
- 文字の大きさ、色、イラストなども工夫しましょう。
- 名前(⑤)は、空いているところに入れます。
- ひととおり読み直してから、新聞の「タイトル」をつけましょう。
- 文章や絵が書けたら、色鉛筆で色を塗って完成させます。

準備するもの

鉛筆(下書き用)、消しゴム、ボールペン(黒色)、色鉛筆、定規など



レイアウトの例